

LB ウッドの開発経過及び製造過程 2

国産材を無処理でそのまま使用し、木材保護塗料を塗るだけというのは屋外空間の環境の厳しさを考えると長期の耐用性は難しいと考えます。

というのは、根本的なことですが、塗装によってそれに含まれる木材保護薬剤が材中に入るのは少量で、かつ、それが数年で雨水などによって、溶けて本来の効果が薄くなるのです。

一方、メンテ時には、本来一番重要なメンテ箇所の木材の重なり部分が、後からの塗布では入らず、どうしても、重要な部分へのメンテは不可能でした。

(LB ウッド製造過程)

① 銅系薬剤の真空加圧注入にて、JAS のユース・クラス : K4



屋外使用木材基準で5.2キロ/m³を入れる。

② ①で加圧注入処理後、養生して、次にDOT（ホウ酸）10%水溶液にて、減圧注入を行う。



FRPで防水したDOT10%水溶液の浸漬槽に①で加工された木材を漬けて、注薬缶で減圧、大気圧との気圧差で注入。

養生期間中も、その後も、DOTが高含水率箇所へ傾斜して移動する性格で、材芯部まで行き渡る。